

3・1ビキニデーに

私たちの声を集めよう

2月28日から3月1日の3日間、静岡で3・1ビキニデー集会が行なわれ、今年はビキニ水爆被災から70年の節目の年となります。集会に参加して「原爆も水爆もいらない！」の声を世界に広げましょう。



戦争体験者の声

若い人たちと一緒に「戦争だけはやめて！」の声を

一宮市在住 田仲 圭さん(94)

10人兄弟の末っ子だった私は、16歳から軍事工場で働き17歳の時に終戦を迎えました。

その頃の私は、戦争教育を受けてきたため、「戦争によって命を落とすことは当たり前」だと思っていました。ところが、兄や姉が戦争によって命を落とすことに涙する母の気がわかりませんでした。しかし、今思えば母がかわいそうだったと思います。

終戦後、私は先輩や友人に恵まれ、多くの労働者と一緒に大学の先生から社会科学を学ぶことができました。そのおかげで、何も知らなかった私が社会に対して関心を持つことの大切さを知り、皆と一緒に社会運動に携わるようになりました。

最近のテレビを見てみると、政府が情報を握りつぶして国民から何もかも没収してしまうのではないかと情けなくなるほど、若い人たちの政治への関心が高まっているようにも感じています。

本来、国民が政府を監視するはずが、今は逆に努力すれば解決できるし、みんなが力を合わせれば変えられます。だから若い方たちにも声を出してほしいと願っています。

年末おたのしみ会では、利用者さんによるチーム対抗の輪投げ大会を実施、「頑張れ！奥のほうに投げ入れて」など、お互いに声を掛け合いながら盛り上がりました。職員による「おみくじで運試し」や「おみくじで運試し」も楽しめました。

職員も楽しめました

学習シリーズ

旧優生保護法は違憲

介護サービス推進課 谷口 薫

事務委員会は、旧優生保護法下における強制不妊手術問題について学習しました。

優生思想の根は深く、障がい者の自己決定権は今なお脅かされています。強制不妊手術という人権侵害は、法曹界、医学界、政治・行政が互いに絡み合っただけでなく、それぞれが心の底から反省し、二度と同じ轍を踏まないことを誓わなければなりません。それがこの歴史的事実を決して忘れてはならない

国に賠償を命じており、救済の流れができていくことがわかります。しかし、国はすべて上告・控訴しています。2023年6月には仙台高裁で原告の訴えを退ける判決を下しています。原告は高齢の方が多く、中には亡くなられた方もいます。

国は速やかに責任を認め、早期の謝罪と救済をすべきです。

「国が放置してきた優生保護法の被害に対し最高裁判所に人権の砦として正義・公平の理念にもとづく判決を求めます」署名にご協力ください。

2023年11月、この問題の裁判（上告されている5件）について、最高裁判所は15人の裁判官全員による大法廷での審理を決め、統一判断が示される見通しとなりました。地方裁判所や高等裁判所において旧優生保護法が違憲と認めている

この問題を巡る裁判では、4つの高等裁判所で

2022年12月、北海道の障がい者グループホームで結婚を望む入所者に対し、不妊手術を受けるよう求めていたと報道されました。不妊処置を拒否すれば就労支援を打ち切り退所させており、事実上の強制です。

この問題を巡る裁判では、4つの高等裁判所で

この問題を巡る裁判では、4つの高等裁判所で

この問題を巡る裁判では、4つの高等裁判所で

健友福祉会だより

ホームページ <http://www.chicki.com/fukushi>

よい一年になりますように

デイサービスセンター・ちあき

デイサービスセンター・ちあきでは、利用者の方々に感謝の気持ちも込め、年末おたのしみ会を、年始には新年会を開催しました。職員による出し物で笑顔になっていただきました。

職員も楽しめました



今年もよい年に



おみくじで運試し

くじや絵馬なども用意して、初詣をしています。地震などいろいろなことが起こった年明けとなりましたが、一日も早い復興と平和を祈願しました。よい一年になりますように。

ボランティア講座 参加者募集
友の会公開講座 参加費無料

認知症について学びましょう

認知症本人の視点から描く

「認知症の歩き方」を学ぶ

認知症について学びたい方、どなたでも参加可。動に興味がある方も、お

※認知症看護認定看護師が講師を務めます

お問い合わせ 尾張健康友の会 0586(76)8312